



空き店舗

RENOVATION Office を

始めよう!

いまさら空き店舗の活用?!

少しでも「まちづくり」や「中心街活性化」等について関心がある人であれば、そう思うことでしょう。なぜなら、空き店舗を利用した学生によるチャレンジショップの運営であるとか、空き店舗を使って起業をめざす新規参入者に対する家賃補助等、甲府市を始め経済的に地盤沈下を起している全国市町村の商店街で近年数多く試みられている、もっと言えば、どこでもやっているからです。しかも、商店街単位で成功している事例は数少ないのです。

それではなぜ学大ではあえて「空き店舗」を取り上げるのでしょうか？他のプロジェクトとはどこが違うのでしょうか？「学大将：空き店舗リノベーション・オフィスを始めようプロジェクト」では、甲府の中心市街地にある空き店舗を魅力的にリノベーションして店子（スペースを借りて店を出す人）の興味を引きつけると共に、甲府らしさの新しい規範となる店舗デザインを提案し、デザインレベルの水準とスタイルに統一性を与えることで中心市街地全体の魅力を高めることを目指します。つまり、自分たちでショップを経営したり、単にスペースを貸し借りする仲介をしたりするのではなく、空き店舗という「モノ」を媒介として、地域の商業、工業、農業、林業、コミュニティ、空間を関係付けて行くことを目指すことに本プロジェクトの特長があり、空き店舗を製品化するためにはパズルのようにこれらの様々な要素を組み上げて行かなくてはならないことを学びます。

● 質問等は担当教員まで：石井信行 土木環境工学科 nobur32@yamanashi.ac.jp ● ● ●

具体的にはプロジェクトを通じて、次に示す課題を解決していきます。

- (1) 甲府の中心商業地にふさわしい店舗のデザインとは？：伝統・文化、歴史、将来像を都市計画、建築、インテリアデザインなどの視点から検討した上で、店構えや店内の設え（デザイン）を考えます。
- (2) 甲府においてデザインを実現するシステムとは？：設計、材料調達、加工、運搬、施工について、継続性や環境負荷そして耐震補強も考慮しながら費用算定や業者選定などの仕方を考えます。
- (3) 甲府の中心商業地で成功する商店とは？：立地と業種、地域性、プロモーション（宣伝等）方法、そしてこれらをまとめ上げる戦略（一般的にマーケティングと呼ばれるものです。）を考えます。

また、これらの業務を遂行するために必要な技能である、CAD（コンピュータを用いた製図）、フォトショップ（画像処理）、パワーポイント（プレゼンテーション・ツール）等のコンピュータ・ソフトの使い方を学びます。

本プロジェクトは次のようなスケジュールで進行します。

- 平成 21 年度 ● ● ●
オフィス開設（8月初旬）
先進事例調査（8月～11月）
（物件調査・ビジネスモデル調査・インタビュー等）
中心市街地物件調査（10月～1月）
デザイン技法トレーニング（10月～3月）
（CAD、CG、模型等）

- 平成 22 年度 ● ● ●
甲府スタイルの店舗モデルを提案
（様式・空間構成・建材等）
市場調査（提供側・需要側）
プロモーション企画策定
協力業者選定（設計・資材調達・宣伝等々）

- 平成 23 年度 ● ● ●
モデル店舗整備
プロモーション（受注活動を含む）
店舗デザインのバリエーション（業種別等）

- 平成 24 年度 ● ● ●
前年度活動の継続
中心市街地における面的展開の企画



参加申込は、別紙「参加申込要領」を見てください。